

# 保護者のみなさんへ

## ポイント

- 人をだまして電話番号や住所などの個人情報を集める目的のサイトやアプリがある。また、電話で聞き取ろうとする業者もあるので、自分や友だちの家の電話番号を、知らない人には教えない。(知っている人でも本人の許可なく教えない。)
- 個人情報を入力するときはもちろん、新しいアプリやサービスを利用するときには家の人に相談する。
- フィルタリングを活用し、有害サイトへのアクセスやアプリの起動の制限をする。また、ウイルス対策も必要。



**個人情報とは**… 名前、住所、本籍・国籍、電話番号、家族構成、年齢、生年月日、血液型、趣味、性別、学校名、学年、クラスなど

個人情報を売買する目的で集めている業者があり、インターネットを介して個人情報を集めようと「占い」「プレゼント」「アンケート」「懸賞」等で個人情報を書き込ませるサイトも数多くあります。書き込んだ結果、見知らぬ会社からたくさんのダイレクトメールが届いたり、本人の知らないところで身に覚えのない契約を交わされたりすることもあります。

また、留守番をしている小学生に電話をし、多くの電話番号を集めようとする事例も報告されています。そのような電話がかかってきたときの対処の仕方を決めておくことも必要です。



**困ったときの相談窓口** もしものときや、困ったときは、一人で悩まず、相談しましょう。

- インターネットを利用した犯罪に  
あつたら**  
 [鳥取県警察本部]  
 【警察相談専用電話】#9110 (通常の通話料がかかります。IP電話不可)  
**0857-27-9110**  
 【サイバー犯罪対策室】0857-23-0110 (代表)  
 【電子メール】k\_haiteku@pref.tottori.lg.jp
- 架空請求に悩んだり、  
請求の内容に疑問を感じたら**  
 [消費者ホットライン] 188 (局番なし)  
 [鳥取県消費生活センター]  
 【東部消費生活相談室】0857-26-7605 (県庁第2庁舎2階)  
 【中部消費生活相談室】0858-22-3000 (倉吉交流プラザ2階)  
 【西部消費生活相談室】0859-34-2648 (米子コンベンションセンター4階)
- ネットいじめに  
悩んだら**  
 [相談電話・メール]  
 【子どもの相談ダイヤル】0120-0-78310 (無料・毎日24時間)  
 【いじめ相談メール】ijime@kyoiku-c.torikyo.ed.jp  
 【いじめ110番】0857-28-8718 (毎日24時間)  
 【子どもの人権110番】0120-007-110 (平日のみ8:30～17:15) (無料・IP電話不可)

# 電子メディアとの付き合い方 学習ノートB

## ノートの使い方

このノートは、電子メディア機器(テレビ、スマートフォン、パソコン、ゲーム機、音楽プレーヤーなど)との上手な付き合い方を学校や家庭で学習できるようにつくりました。このノートを利用して、自分の電子メディア機器の使い方を振り返ったり、家の人と話し合っ  
てルールを決めたりできるようになっています。

## 保護者のみなさんへ

近年、電子メディア機器が広く普及し、利用の低年齢化が進んでいます。また、利用に伴い、トラブルに巻き込まれる子どもたちが増えている現状もあります。利用に際してトラブルに巻き込まれないよう、家庭で話し合うために、このノートを作成しました。子どもたちが「自分で考え」、家庭で「話し合う」構成になっています。また、家庭で話し合う際の参考にしていただくため「保護者のみなさんへ」のページもあります。

なお、このノートは、電子メディア機器の利用や購入を推奨するものではなく、利用に際して家庭で考え、話し合ってもらうことを目的に作成しています。

|       |
|-------|
| 年 組 番 |
| 名前    |

鳥取県ケータイ・インターネット教育啓発推進協議会  
事務局：鳥取県教育委員会 社会教育課

# 「ゲームに夢中になると…」

たろうさんは、欲しかったゲーム機を買ってもらいました。  
家の人と「ゲームをするのは1日に1時間」という約束をしました。

最初の頃は、約束を守っていましたが、夢中になるとだんだん1時間ではやめられなくなってきました。

とうとう、夜遅くまでゲームをするようになりました。

朝寝坊をするようになり、ゲームのことが頭から離れず、授業にも集中できなくなりました。家に帰ってすぐにゲームをするので、友達とも遊ばなくなりました。



## 【考えてみよう】

① はな子さんやたろうさんの家に広告はがきが届くようになったのはどうしてでしょう。

-----  
-----

② はな子さんやたろうさんのよくなかったところはどこでしょう。

-----  
-----

## 【考えてみよう】

① たろうさんのよくないところはどこでしょう？

-----  
-----  
-----

## 【家の人と話し合ってみましょう】

個人情報を守るために気をつけることを家の人と話し合ってみましょう。

-----  
-----

★おうちの方へ

話し合う際には次ページの「保護者のみなさんへ」を参考にしてください。

# 「個人情報は大切に」

## <その1>

はな子さんは占いが大好きです。  
ある日、スマートフォンで無料の占いサイトを見つけました。  
はな子さんは電話番号や住所、趣味、好きな音楽などを  
入力して占いをしてもらいました。

次の日から、はな子さんのスマートフォンにはたくさんの迷惑メールが来るよう  
になりました。家にも、知らない会社から  
の広告ががきがたくさん届くようになりました。



## <その2>

ある日、たろうさんはパソコンで大好きなゲームをしていま  
した。

すると、とてもほしいアイテムのプレゼントの広告があった  
ので、応募することにしました。

電話番号や住所を入力して応募しました。

何日たっても、アイテムは届きま  
せんでした。その一方で、毎日のよ  
うに知らない会社からの広告がが  
きが来るようになり、家に勧誘の  
電話が何度もかかってくるよう  
になりました。



② このままゲームをし続けるとたろうさんはどうなると思  
いますか？

-----  
-----  
-----

【家の人と話し合ってみましょう】

ゲームをするときやテレビを見るときはどんな約束(ルー  
ル)を決めればよいか家の人と話し合ってみましょう。

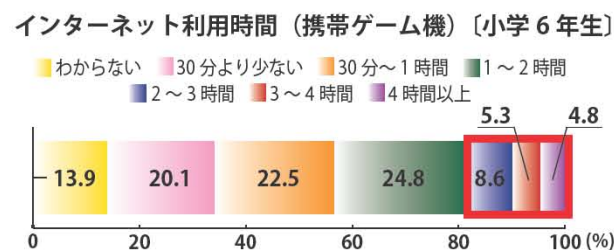
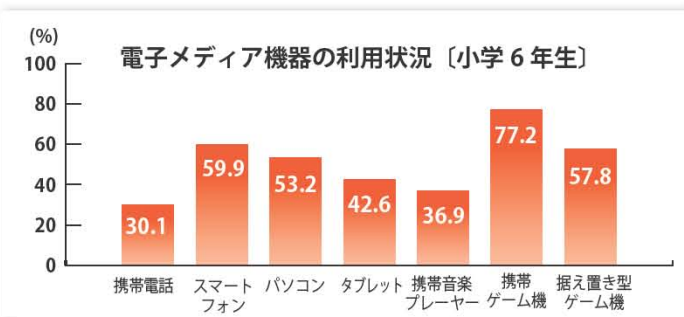
-----  
-----  
-----  
-----  
-----  
-----

★おうちの方へ  
話し合う際には次ページの「保護者のみなさんへ」を参考にしてく  
ださい。

## ポイント

- ゲームをやめられなくなり、生活習慣が乱れてしまう事例が多い。
- ルールをつくる時には、家庭でしっかり話し合う必要がある。
- ルールをつくる時には「守れなかった時のルール」もつくっておくと良い。

平成27年度に鳥取県教育委員会が行った「インターネットの利用に関するアンケート」によると、小学6年生の携帯ゲーム機の利用率は約80%でした。そのうち、約20%の児童が1日に2時間以上ゲーム機を利用していることが分かりました。また、約5%の児童は4時間以上利用していると回答しました。(利用率には家族のものを利用している場合を含みます。)



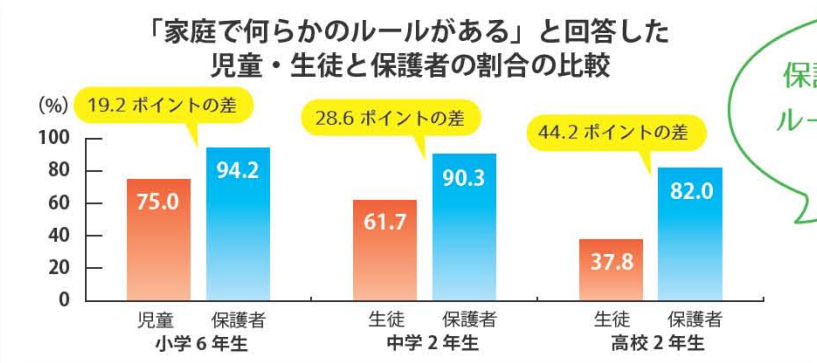
夜遅くまでゲームやインターネットの動画視聴に熱中してしまい、寝不足になって生活習慣が乱れてしまう児童・生徒が増えています。ひどくなると昼と夜が逆転して学校へ行けなくなる事例もあります。

オンラインゲーム(インターネットを使ったゲーム)には、「仲間と一緒にするのでやめられなくなる」「終わりがなく、いつまでも続く」「レベルが上がり強くなっていくので面白い」などの特徴があり、パソコンでの動画視聴にも「次々おすすめ動画が出てくる」など、やめられなくなる仕組みがあります。

そのため、インターネットでの動画視聴やゲームなどに夢中になり、自分ではやめられなくなってしまうことがありますので、そうならないために、使わせるのであれば、家庭で約束(ルール)を決めておきましょう。ルールを決めるときには、子どもと一緒に家庭でよく話し合ってください。

## 決めておきたいルールの例

- 使用時間(1日の使用は○時間以内 など)
- 使用場所(自分の部屋では使用しない、外では利用しない など)
- ルールを守れなかったときは…(○日間使用禁止にする、保護者に返却する など)



保護者と子どもとの間には、ルールの有無に関する認識に違いがあります



## 「メディア21:00」運動

21時以降は友だちを巻き込むようなLINE(ライン)などのコミュニケーションツールやゲームをやめて相手の時間を尊重しようという運動です。鳥取県PTA協議会が提唱し、様々な団体が賛同し運動を進めています。生活習慣をくずさないようにするためにも「メディア21:00」運動に取り組みましょう。

※電子メディア機器の利用や購入を推奨するものではありません。

## インターネットトラブル事例集

### ネット依存(インターネット依存)

夜中までインターネットに夢中になり、寝不足になって、学業に影響が出ることもあります。ひどくなると昼夜逆転して、健康を害したり、学校に行けなくなったりすることもあります。



### つながり依存

SNSや無料通話アプリ、メールなどインターネット上のつながりに夢中になり、スマートフォンが手放せなくなったり、パソコンの前から動けなくなったりしてしまう人が増えています。

### ゲーム依存

オンラインゲームに没頭してしまい、やめられなくなってしまうこともあります。夜中にプレイすることが多くなるため、睡眠時間が短くなり、勉強等に影響することがあります。

### コンテンツ依存

サイト内の動画や記事などを見続けてしまい、いつの間にか長い時間インターネットを使っていたという人も増えています。

**使用する時間や場所などのルールを決めることが大切です。**

### 不当請求

有害サイトやアプリからの架空請求や、詐欺に巻き込まれる被害が増えています。また、画像等をクリックしただけで「登録完了」となり、お金を請求される「ワンクリック詐欺」の被害も増えています。

**架空請求があったときは相手に連絡を取ってはいけません。また、困ったときはすぐに家の人や先生に相談しましょう。**

### 個人情報の流出

SNSなどを利用する際の個人情報の取り扱いには注意が必要です。SNSへの書き込みは基本的に世界中の誰でも見ることができます。会話の中に個人名や住んでいる場所、学校名や写真が出てくると個人が特定されてしまいます。同じように、友だちが写っている写真を投稿すると、その友だち個人も特定されてしまうことにつながります。また、面白半分で載せた投稿が大きなニュースになってしまい、過去の投稿から個人が特定され、進学や就職、結婚などの将来に影響を落とすことがあります。

また、アンケートやプレゼントの応募等に住所やメールアドレスを書き込ませ、個人情報を集めようとするサイトもあります。

**どんな些細な個人情報も載せない(写真から住所などの個人情報が分かってしまう場合もあります)。**



### メールや無料通話アプリでのトラブル

メール等は短い文章が多く、相手に伝わりにくいので、誤解が生じやすく、トラブルが起こりやすいです。直接話せば、何でもないことでも、メール等の短い言葉の勘違いや書き間違いをきっかけに、友だち関係が壊れ、いじめにつながるケースもあります。

**大切なことは顔をあわせて直接話しましょう。メール等を送信する前に確認してから送るようにしましょう。(受け取る側もすぐに腹を立てず、心に余裕を持って対処しましょう。)**

## ポイント

- 無料通話アプリなどの短い文章でのやりとりは相手に伝わりにくく、誤解を生みやすいため、トラブルが起こりやすい。
- 文章を送る時は自分の気持ちが相手に伝わるかをよく確認してから送るようにする。
- 困ったときには家の人や先生に相談したり、直接相手と話したりすることが大切。

無料通話アプリはみんなで会話しているような気持ちになったり、スタンプを送りあったりして楽しく便利に使うことができます。

しかし、直接会って会話するのとは違い、表情や口調など相手の様子が分からないため真意が伝わりにくかったり、文字数が少ないため正確に伝わらなかったりして、誤解が生まれ、トラブルに発展することがあります。

### 【正確に伝わらない例】



⇒「遊ばない」「遊ぶ」の2とおりのとらえ方がある



⇒「？」をつけ忘れたため、「悪い」という意味になってしまう



⇒「交通手段を尋ねる」「来なくていいのに、何で来るんだ」の2とおりのとらえ方がある

### トラブルに発展しないために、家庭で話し合っておきたいこと

- ・大切なことは実際に会って話す
- ・誤解のない表現を心がける
- ・送信する前に文章を読み直してから送信する
- ・返信が遅れてもイライラしない
- ・困ったことがあったらすぐに大人に相談する



## インターネットを安全に使うため、知っておきたいこと

インターネットには、様々な特性やサービスがあります。自分や周囲の人を守るために知っておきましょう。



### ①世界中に公開されます

インターネットへ載せた文章や写真は世界中に公開されます。「親しい友だちだけだから…」と書いていても、誰かが転送すれば世界中に公開されてしまいます。

### ②一度載せると取り消すことはできません

インターネット上に一度載せた文章や写真は取り消すことができないことが多く、必ずどこかに記録が残ってしまいます。名前を書かない場合でも誰が発信したかという記録が必ず残ります。将来の自分にとって、マイナスになってしまうこともあります。

### ③情報をそのまま信用してはいけません

インターネット上には誰でも情報を載せることができるので、信用できない情報も多く、情報を取得する時には正しい内容かどうかを確かめる必要があります。

### ④相手のことを考えながら通信しましょう

インターネットでのやりとりは文字が中心になるため、思いが相手に伝わりにくく、誤解が生じる場合があります。また、同じ情報でも相手によってとらえ方が違う場合もあります。また相手にも事情があり、すぐに返信できないこともあるということを承知しておきましょう。

### ⑤夢中になってやめられなくなるサービスがあります

インターネットのサービスの中には、夢中になるサービスがたくさんあります。使い始めるとなかなかやめられなくなり、依存になる可能性もありますので、使う時間を決めましょう。

# 「きちんと伝わっているかな？」



つぎ ひ 次からはな子さんには誰も話しかけてくれなくなりました。

しゅうかん こ 1週間後、はなさんは画面を見直しました。  
あと か わす 「これ、かわいくない」の後に「？」を書き忘れていたことに気づきました。

つぎ ひ 次の日、みんなに直接謝り、仲直りしました。

## 【かんが 考えてみよう】

① どうしてつぎ ひ 次からはな子さんにはだれ はな 誰も話しかけなくなったのでしょうか。

-----  
-----

② ちよくせつ かい わ 直接会話をすると、メールやむりょう つう わ 無料通話アプリなどでかい わ 会話をするときのちが ちが なん 違いは何でしょう。

-----  
-----

## 【いえ ひと はな あ 家の人と話合ってみましょう】

メールなどのメッセージをおく ときになに き 何に気をつければよい  
かいえ ひと はな あ 家の人と話合ってみましょう。

-----  
-----

★おうちの方へ

話し合う際には次ページの「保護者のみなさんへ」を参考にしてください。